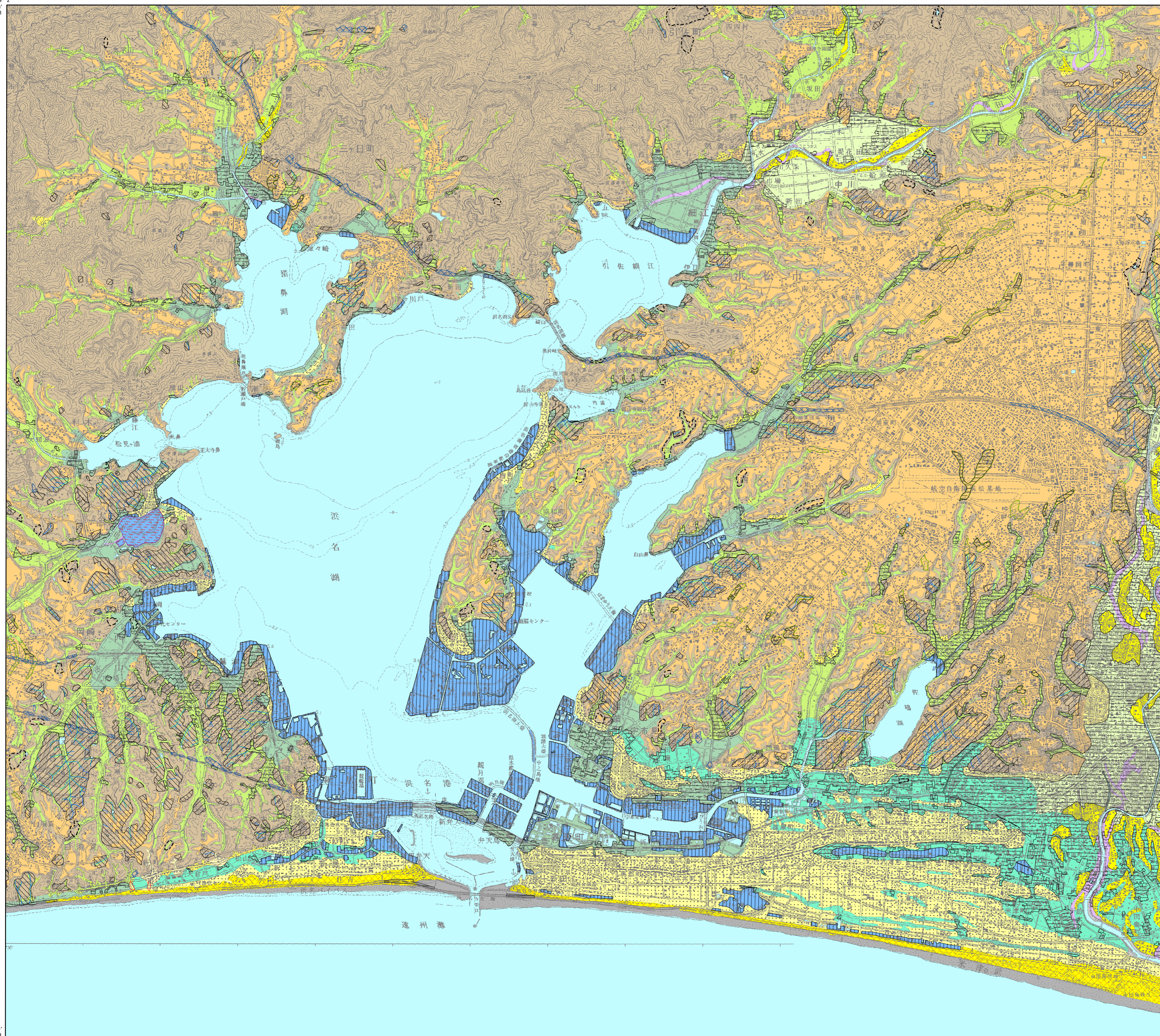


平成二十四年度調査

平成二十五年三月発行

国土交通省 国土政策局



**人工地形分類 Artificial Landform**

- 人工平地(切り盛り造成地)Artificial ground (Cut and fill)
- 宅地等 Flatland for residential use
- 農地等 Flatland for agricultural use
- 変更工事中の区域 Area under modification
- 盛土地 Fill-up land
- 埋立地 Reclaimed land
- 干拓地 Drained land
- 切土地 Cut slope
- 旧谷線 Buried valley

**自然地形分類 Natural landform**

- 山地 Mountains
- 山地斜面等 Mountain slopes
- 麓斜面及び崖錐 Colluvial slope or Talus
- 土石流堆積地 Depositional landform formed by debris flow
- 台地 Terraces and upland
- 砂礫台地(更新世段丘) Gravel terrace (Pleistocene terrace)
- 砂礫台地(完新世段丘) Gravel terrace (Alluvial terrace)
- 低地 Lowland
- 緩扇状地 Gentle alluvial fan
- 扇状地 Alluvial fan
- 谷底低地 Valley bottom
- 氾濫原低地 Flood plain (back marsh)
- 自然堤防 Natural levee
- 旧河道 Abandoned channel
- 湿地 Wetland
- 三角州・海岸低地 Delta or Coastal lowland
- 砂州・砂堆(礫州・礫堆) Sand bar
- 砂丘 Sand dune
- 天井川及び天井川沿いの微高地 Raised bed river
- 河原・河川敷 Dry river bed
- 浜 Beach
- 水部 Water
- 現水部 Recent water surface
- 旧水部 Former water surface
- 副分類 Subdivision of Natural landform
- 崖 Cliff
- 凹地・浅い谷 Shallow valley on terrace or alluvial fan

摘要

1. 経緯度の基準は世界測地系
2. 投影はユニバーサル横メルカトル図法、座標帯は第53帯、中央子午線は東経135°
3. 作業機関 国際航業株式会社
4. 背景地図 数値地図50000(地図画像)平成20年修正
5. 対応する二次メッシュコード  
513775, 523704, 523705, 523714, 523715

**行政区画**

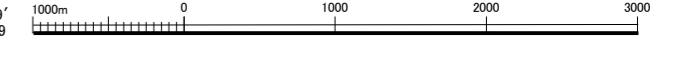
**索引図**

御油	三河大野	天竜
豊橋	浜松	磐田
田原	(伊良湖町)	掛塚

( )内は所属20万分1地形図名

- 愛知県**
1. 新城市
  2. 豊橋市
- 静岡県**
3. 浜松市
  4. 湖西市

1:50,000 浜松



「この地図の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5万分の1地形図、数値地図50000(地図画像)、数値地図25000(土地条件)及び基礎地図情報を使用した。(承認番号 平24情使、第534号)」

1. 自然地形分類は1:25000土地条件図「浜松」(国土地理院 1982)を基礎資料として編集したものである。編集にあたっては、以下の既存資料を参考に空中写真の補正判読により修正を行った。  
5万分の1土地分類基本調査(地形分類図)「浜松」(静岡県 1971)  
判読に使用した空中写真は142-A-5(昭和21.5.22 米軍撮影)、M191-A-5(昭和21.7.11 米軍撮影)、M192-A-5(昭和21.7.13 米軍撮影)、M197-A-3(昭和21.7.16 米軍撮影)、M263-A-3(昭和21.9.21 米軍撮影)、M300-A-3(イ) (昭和21.10.27 米軍撮影)、M751(昭和23.1.22 米軍撮影)。
2. 人工地形分類図は2万5千分の1地形図「気賀」(平成19年更新)、「浜松」(平成19年更新)、「三ヶ日」(平成19年更新)、「新居町」(平成19年更新)の読図、及び空中写真(CCB-2001-1X国土地理院撮影)の判読により作成したもので、基本的には平成13年時点の地形の状況を反映している。
3. 背景地図 数値地図50000(地図画像)平成21年発行、「浜松」(平成20年修正)。
4. 自然地形分類の現水部については、基礎地図情報の水涯線及び海岸線データ(2008年6月3日公開)を参考にして作成した。
5. 本図の作成にあたっては、奈良大学の海洋正倫教授、南山大学の藤本 潔教授、名古屋大学の堀 和明准教授の指導をいただいた。